

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」愛知訴訟(名古屋地裁)第10回期日(20211015)提出の書面です。

平成31年(ワ)第597号 損害賠償請求事件

原告 大野利政、鷹見彰一

被告 国

証拠説明書

2021年10月8日

名古屋地方裁判所民事第8部合議A係 御中

原告ら訴訟代理人 弁護士 堀江哲史

ほか

号証	標目		作成日	作成者	立証趣旨
甲A 446	最高裁判所 判例解説 刑事篇 昭和37年度 (抜粋: 223 ~229頁)	写し	(印刷日) 2021.10.8 ※最高裁判 所判例解説 Webより印 刷	脇田忠	最大判昭37年11月28日刑 集16巻11号1593頁(第 三者所有物没収事件)の事案の ように、日本国憲法の要請する 第三者の適正手続を保障する手 続規定が整備されていないとい う法の不備が問題となり、違憲 と判断された事例があること等
甲A 447	第171回 国会 衆議院 法務委員会 議録第4号	写し	2009.4.3	衆議院 法務委員会	2002年には、外国で同性婚 を行う者に対して婚姻要件具備 証明書を発行していたことを法 務省が把握し、「外国において 同性間の婚姻を成立させること を目的として証明書の交付請求 があった場合の証明書の様式に ついて」と題する通知を発し て、以後は独身証明書を発行す るようになったこと
甲A 448	最高裁判所 判例解説 民事篇 平成27年度 (下)(抜粋: 685~69 1頁)	写し	(印刷日) 2021.10.8 ※最高裁判 所判例解説 Webより印 刷	加本牧子	立法不作為の国家賠償法上の違 法性判断についても、「近年の 社会状況の変化等までが影響し て徐々に違憲の評価を帯びるよ うになったという事情もその判 断要素の一つとなり得るもので あること

以上